

日田商工会議所 隈を元気にして委員会 議事録

1. 日 時 令和 8 年 5 月 27 日（水） 10 時 30 分～11 時 30 分

2. 場 所 日田商工会議所

3. 出 席 者

- （会 頭） 瀬戸 亨一郎
- （担当副会頭） 小ヶ内 聡行
- （委 員 長） 河津 奈津子
- （副 委 員 長） 古田 嘉寿美
- （専 務 理 事） 樋口 恒成
- （委 員） 諫山 吉晴、竹井 信之、梶原 義一、小野 智弘、大塚 智、山本 友紀、
安田 徳章、高倉 貴子、竹内 一晃、中西 浩、佐藤 裕一郎
- （事 務 局） 大石 昭典、桑野 稔、中島 真介、別府 詩帆

4. 議事

1) 委員長挨拶

- ・ 委員長より、本日は委員からたくさんの意見を出していただきたい旨の挨拶がある。

2) 議題：今後の委員会事業について

① 資料（ロードマップ案）に基づく説明

議事の冒頭で、委員長より前回の振り返りと今後のロードマップ案について以下の説明が行われた。

- ・ **現状認識と成功体験：** 平日の昼間の人通りが極端に少ない現状がある一方、昨年の「隈の灯まつり」では予想を超える来場者があり、普段静かな通りもイベントで化ける「底力」があることが再認識された。
- ・ **目指す「元気」の定義と課題：** 「賑わいの創出（日常的に集える街）」「商いの活性化（商売人が増える）」「次世代への継承（活気を取り戻す）」の 3 点が目標として示された。また、過去 15 年で市内の商工業者が約 18%減少しており、早急な刺激と行動が必要であるとのデータが共有された。
- ・ **3 年間のステップ：** 単発のイベントで終わらせるのではなく、2026 年は「集める・聴く（現状把握・意見集約）」、2027 年は「企てる・提案（プラン策定）」、2028 年は「動かす・実現（新しい日常のスタート）」とする 3 カ年のロードマップ案が提案され、賛同を得た。
- ・ **4 つの重点施策案：** 具体的な方向性として以下が提示された。
 1. **隈らしさの演出（景観）：** 提灯・暖簾などの統一感の演出や、豆田より古い歴史の再発見。
 2. **水辺との距離を縮める：** 水上ステージの再活用、川に近づける護岸整備、ラ

イフジャケット等の安全対策。

3. **鵜飼・船遊びの「公的」支援:** 存続の危機にある鵜匠（現在2名）や船頭を守るため、行政を含めた継承の仕組みづくり。
4. **新しい「昼の流れ」を作る:** 健康・ウォーキングとのリンク、ペットツーリズム（犬連れ宿泊）への対応、若年層向けのARスポットなどデジタルの仕掛け。

② デジタルツールを用いた意見交換（アイデア出し）とテーマ分類

委員長より、スマートフォンから匿名で意見を投稿できるデジタルツール（付箋アプリ）が紹介され、参加者から「隈を元気にするため」の自由なアイデアや妄想が多数出された。その後、画面上に集まった多くの意見（付箋）を、似た内容ごとに「経済」「水辺」「文化」「交通」「観光」等のテーマに分類し、色分けをして整理・共有を行った。各テーマに分類された主な意見は以下の通り。

・ 【経済】

- 和菓子屋めぐりの実施や、現在あるお店を絶やさない工夫（事業承継問題への対応）が必要。
- 市と連携してチャレンジショップを作り、若手起業家を誘導する。
- PFI（民間資金活用）により亀山公園や隈町公園にカフェ・ショップを誘致する。
- 長良川の事例のように、深刻な後継者問題にある鵜匠を市役所職員化するなどの公的対応が必要（民間での育成は無理がある）。

・ 【水辺】

- 隈公園への足湯・手湯の設置。
- 三隈川でのスワンボート（昔の貸しボート）の復活（先週も話題に挙がった）。
- 屋形船の動力として、静音性の高い電動モーターを導入する。

・ 【文化】

- 黎明館を図書館やアート施設、芸術や郷土を身近に知れる場所として活用する。
- 黎明館に市が所有する美術品（岩澤先生の作品など）の常設展示を行う。
- 川辺でジャズなどの演奏会を開催し、そこから周辺の飲食店へ客を誘導する「音楽の街」構想。

・ 【交通】

- 隈と豆田間を移動できる電動カー等のレンタルや、グリーンスローモビリティ（豆田⇄駅⇄隈）の導入。
- 歩ける距離の導線整備（豆田⇄駅⇄隈）や、旅館裏のガタガタな遊歩道の整備、川にふれ合える護岸整備。
- 市内循環バスを観光客が利用しやすい観光導線とする。

- 隈町公園で日替わりまたは土日にキッチンカーを出店させる。
- **【観光・その他】**
 - 長門湯本温泉のように木造の公共温泉施設をつくる、芸妓さんの復活、マリオカートの導入。
 - 委員長からの「普段の様子に魅力がある（地元民が行く店に観光客も行きたがる）」という意見に賛同し、まずは日田市の人に隈の魅力や良いところを整理して知ってもらい、隈を好きになってもらう。
 - 毎月 26 日（風呂の日）の市民開放イベントの実施や、ひなまつりマラソン大会のコースにする（スポーツ連携）。
 - 店先（軒先）に飲食スペースを増やして賑わいを創出する。
 - イベントも日常的な仕掛けも、まずは広く認知されるための広告が必要。
 - その他のキーワード：「夜だけじゃない」「健康、観光、アート、コンパクト、ひた」「すてきな街 隈」「隈らしさ」「がんばれ！旅館街！」「亀山公園の歴史等のリフレットがある」「商工会議所は、どうしたい？」。

3) その他

- 商工会議所として出た意見をしっかり広げて形にしていく旨が共有された。
- 6 月 24 日の総会後に行われる懇親会では、委員会ごとにテーブルを分ける予定であり、引き続き多くの委員に参加いただき活発な意見交換をお願いしたい旨の案内があった。

4) 閉会

- （11 時 30 分頃 閉会）